

表紙Q & A

表紙の問いに対する「あなた」の答えはどうでしたか？
裏面を読んでから、もう一度家族で話し合ってみてください。

Q1. 津波ハザードマップを見たことがありますか？
自宅の災害リスクは把握できていますか？

→ P 1 参照

- A. 津波ハザードマップには、津波による被害が想定されるエリアや深さ、適切な避難行動など、命を守るために必要な情報が掲載されています。災害発生時に正しく避難の判断ができるよう、津波ハザードマップを事前に確認し、自宅や職場などの浸水想定を把握しておきましょう。



Q2. 能登半島地震の際は徒歩で避難しましたか？
津波災害時の「垂直避難」「水平避難」を知っていますか？

→ P 4 参照

- A. 災害時に避難する際は、渋滞による逃げ遅れなど二次災害を防ぐため、徒歩での避難が原則です。また、津波からの避難では、近くの高い建物や自宅の2階以上へ逃げる「垂直避難」と、浸水想定区域の外に逃げる「水平避難」の2種類があります。滑川市では、津波が最短3分で海岸に到達する可能性があることから、浸水想定区域内にお住まいの方は、津波災害時には「垂直避難」を実施しましょう。



Q3. 最寄りの指定避難場所、避難所を知っていますか？
気象情報や防災情報を正しく入手できますか？

→ P 2、3、5、6 参照

- A. 避難場所を事前に把握していないと、発災時に避難に時間がかかってしまいます。平時から、最寄りの指定避難場所や指定避難所を確認しておきましょう。また、近年災害時にはメールやSNS等により、真偽不明のデマ情報が拡散されています。デマ情報に惑わされないよう、日頃から信頼できる情報の入手先を確認しておきましょう。



Q4. 【在宅避難】を想定し、家庭で備蓄をしていますか？
非常用持出袋は準備していますか？

→ P 4、7、8、9 参照

- A. 市では、自宅の倒壊や焼失などにより、備蓄品を持ち出せなかった人の分の数量を想定し食料等を備蓄していますが、不足する事態も考えられます。自宅等に危険性がない場合の【在宅避難】に備えて、各家庭で3日～1週間分の食料や飲料水等を備蓄しておきましょう。また、万が一の避難に備え、非常用持出袋を準備しましょう。



Q5. 地域の防災活動に参加していますか？
消防団や防災士の活動を知っていますか？

→ P 10 参照

- A. 大規模な災害が発生した時に、被害の拡大を防ぐためには、町内や地域を中心とした共助の役割が大変重要です。町内や地域の防災活動に参加し、災害に備えよう。また、消防団や防災士は、地域の防災力の向上や減災機能の強化に向けて日々地域で活動を行っています。



問合せ先：滑川市防災危機管理課
TEL:076-475-0573